

## ICTの活用及び連携シート作成による 情報共有の取組み

住之江区在宅医療・介護連携相談支援室  
(受託法人：大阪市住之江区医師会)

# 1. ICTの導入経緯

平成29年以前

平成27年夏 地域包括ケアシステム構築に向けて区医師会と関係者で検討開始 **【目的】**

- ・在宅医を増やす
- ・在宅医の負担軽減
- ・在宅医の主治医・副主治医制
- ・ICTの導入 **【手段】**



医師会理事会で導入に関して審議  
医師や歯科医師、薬剤師、看護師、など医療者限定で導入に  
また個人情報漏洩防止などを考慮し運用や書式を決める

平成27年冬 運営会社を招いて説明会開催  
参加した9医院、2薬局、8訪問看護ステーションが利用申込み  
⇒ **利用開始**

## 2. ICT概要

スマホやタブレット、PCで利用できる連絡ノート  
患者さんの家に行かなくても見れる連絡ノート



### ① チームがつくれる

患者に関わる医療介護者同士で、職種・施設・地域を超えたチームをつくることができる

### ② 情報連携ができる

患者チームの中で、文書・写真・動画など、治療・ケアに必要な情報連携ができる

### ③ 必要なときに患者・家族も参加できる

患者チームの一員として、患者ご本人・ご家族を招待することができる

※住之江区で採用したICTの場合

## 2. ICT利用の拡大へ向けて

平成29年 住之江区在宅医療・介護連携相談支援室設置

平成29年 導入（インストール）をしていない**医師会員**  
全てに連絡、訪問しインストールを支援

約8割の会員が登録

平成29年 ケアマネジャーも参加可能に

介護側も参加できるようになった！

○医師からの依頼を受け薬局や訪問看護ステーション、ケアマネジャーへ個別に  
インストールや操作説明を行うなどバックアップ

平成30年 医師会月報で周知文書を毎月掲載

利用促進

平成31年 ヘルパーも参加可能に（一部）

### 3. ICT活用（評価の声）

活用している機関からは評価が高い

医師

「情報（連絡）漏れが減った」

「電話が減った」

「電話と違い後から見返すことができる」

看護師

「患者さんの情報をまとめてみれる」

「関係者と一度に共有できる」

ケアマネジャー

「情報連携が楽になった」

「書類をFAXする手間がなくなった」

## 4. (ICT活用の) 評価と今後

- ・活用している機関からは評価が高いが、活用していない機関が多い（増えない）
- ・（活用している）医師が介在していない場合は使用できない
- ・行政が入りにくい
- ・当区では法人としての導入ハードルは下げた（限定的にすることで）が、各機関の利用導入に関しては別のハードルが存在する（高い）

⇒利用する機関を増やすよう継続して活動する

# 5. 連携シート

当初は連携をICTでのみ展開する構想

理由) 複数の方法 (ICTと紙媒体) では混乱すると考え  
 連携シート (紙媒体) 導入は見送り

しかし

⇒① ICTの普及が進まない

②利用用途が違う

①②を理由に平成30年に担当理事に提案、現在区の医療  
 介護連携推進協議会のワーキングで内容を検討中  
 (次年度導入予定)

## 連携シート (案)

住之江区連携シート (案) < 至急 ・ 7日以内 >  
 作成日 年 月 日 ( )

発信元

担当者

職種 医師・ケアマネ・その他 ( )

TEL FAX

⇔

受信元

担当者

職種 医師・ケアマネ・その他 ( )

TEL FAX

平素はお世話になり、ありがとうございます。下記の利用者について、ご意見を賜りたく連絡をさせていただきます。  
 お忙しいところ誠に恐れますが、ご回答をお願いいたします。

利用者情報 \* 個人情報の取り扱いにご留意ください。

氏名 生年月日 M. T. S. H. 年 月 歳  
 男・女 介護認定 要介護 要支援 申請中

紹介及び情報提供をいただくことはご本人に同意を得ております。 同意日 年 月 日  
 ご本人の心身の状況から同意は得られておりませんが、ご本人の為に必要がありますのでご連絡いたします。

表題

【目的】 報告 ・ 連絡 ・ 相談      【返信】 返信希望 ・ 要返信 ・ 返信不要

ご挨拶       福祉用具導入における医学的意見      【会議】

院内介助について       医療系サービス導入について       サービス担当者会議について

薬のことについて       その他      日時 月 日 時

口腔ケアについて      場所

主治医意見書作成について       退院カンファレンス

ケアプラン作成時の意見について      日時 月 日 時

利用者の心身の状況について      場所

下記のとおり回答します

回答者 記入日 年 月 日

【目的】 報告 ・ 連絡 ・ 相談      【返信】 返信希望 ・ 要返信 ・ 返信不要

【会議】 担当者会議 ・ 退院カンファレンス      出席 ・ 要検討 ・ 欠席

【回答方法】      【直接会って回答】

電話     FAX     E-mail       診療時間中いつでも可

文書     その他       希望日と時間帯 (希望に○印または時間を記入)

メモ(ご意見)

	月	火	水	木	金	土
午前診						
休診						
午後診						

住之江区在宅医療・介護連携推進協議会 住之江区役所作成 / 文書料不要 R1年11月 現在  
 \* FAXを使用する場合は利用者の情報を記号・イニシャルにする等、個人情報の取り扱いに十分ご留意ください。

## 6. 連携シートのこれから

医療・介護双方で継続して使用できるよう使用方法等を丁寧に周知していく  
また当初の構想にもあるようICTと混乱をしないよう交通整理をしていくことが必要

## 7. 最後に

医療・介護が連携を行いやすくするツールとしての情報共有（ICT、連携シート）と  
いうことを忘れずに地道に粘り強く活動をしていきたいと思えます

ご清聴ありがとうございました